

# 常総市 文書復旧ニュース 第3号

本誌は、平成27年9月関東・東北豪雨により被災した常総市公文書の復旧活動に係る進捗状況等について、御支援いただいた方々にお伝えるために作成しています。

常総市公文書復旧活動へこれまでに延べ700名を超えるボランティアの方に参加いただくと同時に、多くの機関・個人の方々から資機材をお送りいただきました。また、茨城県（教育委員会文化課、歴史館）、独立行政法人国立文化財機構、大学共同利用法人人間文化研究機構国文学研究資料館、茨城文化財・歴史資料救済・保全ネットワーク、全国歴史資料保存利用機関連絡協議会、国立公文書館等から御指導・御助言・御支援をいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

## 公開作業を実施しました。

ゴールデンウィークの5月2日(月)から7日(土)にかけて、公開作業を実施しました。作業現場の見学と同時に、作業ボランティアを体験していただき、参加者は延べ50人を超えました。特に、学習院大学や明治大学、筑波大学、千葉大学から多くの方がグループで参加してくださいました。本当にありがとうございました。

被災した書庫の見学、文書救助の経過、復旧作業内容などのレクチャーの後、被災文書の劣化状況の確認（主として乾燥状態の確認）、乾燥促進のための開冊・開頁作業、汚れ・カビ孢子除去のためのドライクリーニングや洗浄作業をしていただきました。

今後も同様の企画を実施いたしますので、今回同様多数の方の御参加をお待ちしています。

## 「公文書復旧活動の歩み」展を開催

被災した公文書が復旧作業によって再生されるまでの活動を広く市民の方に知っていただくために、「公文書復旧活動の歩み」展の開催を企画しています。

会場は、常総市役所の議会棟1階で、6月6日(月)から休日を含めた2週間程度の期間を予定しています。

また、展示のための準備作業を6月4日(土)・5日(日)に行います。このため、パネルや展示具の作製などに御協力いただけるボランティアも併せて募集いたします。

御協力いただける方は、下欄の問い合わせ先までお知らせください。

## 今後の予定

復旧対象となっている永年文書庫に保存されていた文書のうち、行政文書目録に記載されていた史料の乾燥・開頁作業が終了しました。

今後は目録未記載の文書のカビ除去やドライクリーニング、洗浄作業を適宜行う予定です。

体験されたい作業がある場合は、御連絡ください。希望に沿う作業を行っていただけるように調整いたします。

## 文書復旧ボランティア作業プログラムを作成しました。

初めて参加いただく方には、概要説明の後、被災文書庫・作業・保管場所を御案内し、その後、作業を体験していただきます。作業内容としては、文書分類・整理や開冊・開頁作業、ドライクリーニング、洗浄、取込・編綴作業など、参加時に主として実施している作業を中心に行っていただきます。

リピーターの方には、参加時に主として実施している作業に加わっていただきますが、専門性や経験によって、必要な作業を依頼させていただくことがあります。専門家の方には、専門性を生かした御指導をお願いいたします。資機材の調達や作業場所の設定、対象資料の選定のために事前の調整が必要です。下欄の問い合わせ先までお知らせください。

ボランティアの御支援を随時受け付けております。  
また、作業の見学や視察も歓迎いたします。  
作業日時 平日・毎月第1土曜日 午前9時～午後4時  
問い合わせ先 hosei@city.joso.lg.jp

編集・発行 平成28年5月12日  
茨城県常総市水海道諏訪町3222番地3  
常総市役所 総務部 総務課